

## 公 表

### 第 58 回技能五輪全国大会「左官」職種 競技課題

次の注意事項及び仕様に従って、課題を制作しなさい。

#### 1. 競技時間

標準時間 10 時間 00 分

・モジュール 1 = 6 時間 30 分  
打切時間 6 時間 40 分

・モジュール 2 = 3 時間 30 分  
打切時間 3 時間 40 分

※休息时间 30 分間含まれず

#### 2. 作業説明

別紙 1 のとおり

#### 3. 仕 様（モジュール別、作業内容および指示事項）

別紙 2・3 のとおり

#### 4. 注意事項

別紙 4 のとおり

#### 5. 支給材料および部材

別紙 5 のとおり

## 別紙 1

### 作 業 説 明

1. 課題の作成はモジュール形式とする。2 工程に分割した作業を決められた時間内に行うこと。
2. 作業台および作業エリアは常に整理整頓すること。
3. 使用工具、工法は指示事項を除き、自由選択とする。スケール、差し金等計測用具は、J I S 規格品とする。
4. 支給された材料を確認すること。異常のあるときは競技前に申し出ること。
5. 持参工具の展開は会場下見の時に行う（付添人も可）。
6. 引き型は図面寸法を採用する。
7. モールディング張り付け材料は自由とする。ビス止めの併用可（有機接着剤は禁止）。
8. 張り付けたモールディングと壁の間は、すき間なく仕上げること。
9. 置引き作業時の引き型洗水の容器、容量は最小限度にとどめること。
10. 石膏ボード切断、加工および置引き等、作業は備え付けの作業台を使用すること。板の継ぎ足し、持ち込み等は不可とする。
11. 軽量鉄骨加工・取付けおよび石膏ボード切断時は安全のために保護用手袋を着用すること。
12. 課題の下地はベベルボードとする。寸法は 1,820×1,820 とする。
13. 作業エリアの床養生は主催者側で行うこととする。
14. 制作したモールディングの切断は箱定木（留め型）の使用を可とするが、指定寸法にあわせて、両側を切断できるように作成した箱定木は禁止する。

## 仕様（モジュール別、作業内容と説明）

### モジュール 1

施工日：1 日目「11 月 14 日（土）」

施工時間：6 時間 30 分（8:50~12:00）（13:00~16:40）

（午前・午後、休息時間を 10 分間取る事）

- 作業内容：・各種墨出し作業を行う。ふかし壁部は図面に基づき、軽量鉄骨を組み立て、石膏ボードを切断加工して取付ける。
- ・出角部はコーナ一定木を指定個所に取付ける。
  - ・厚塗り部（ふかし壁:内壁とみなす）は支給した材料を用いて中塗りを行う。**開口部内面左側の小壁は、パテ仕上げを行う。**
  - ・薄塗り部(一般部：外壁とみなす)は支給した材料を用いて下地処理を行う。
  - ・作製した引き型を用いて置引き作業を行う。出来上がったモールディングを切断加工する。モールディング◎を切断加工後、指定個所に取付ける。
  - ・**モールディング◎の段鼻は、面を取る。**

作業説明：中心墨、陸墨は各自で出すこと。陸墨は課題中心部の床から1,000mm上がりの位置を基準とする。

中塗り墨・モールディング◎取付け墨は、必ず出す事。逃げ墨・下地墨・仕上げ墨は、必要に応じて出してもよい。**中塗り墨は、仕上げ寸法より 2mm 下げる。**

- ・ふかし壁部は軽量鉄骨（ランナー、スタッド）を組み立て作製する。
- ・軽量鉄骨に石膏ボードを止めるビス間隔は、200 mm以内とする。
- ・厚塗り部の出角は指定したコーナ一定木を用いて固定する。**中塗り墨に合わせて固定する。**
- ・薄塗り部の出角はコーナテープを接着テープで貼るか、下地材を用いて取付ける。
- ・モールディング④の引き型は現地で支給する方眼紙と鉄板を用いて制作後、持参した木型に取付けて完成させる。 ⑤・◎の引き型は完成したものを持参してよい。
- ・置引きの下地に使用する発泡スチロール(1,820×450×10)は支給。発泡スチロールは、必要であれば使用してもよい。(持ち込み不可)
- ・仕上がったモールディング④・⑤は指定寸法に切断加工し取付けができる状態にする。
- ・引き型は1日目の作業終了後、すべて提出する。

## 別紙 3

### モジュール 2

施工日：2 日目「11 月 15 日（日）」

施工時間：3 時間 30 分(8:50~12:30)

（休息時間を 10 分間取ること）

作業内容：壁面上塗りとモールディング④・⑤の張り付け、接合部の補修作業を行う。  
また、モールディング⑤内の鍍塗り仕上げを行う。

作業説明：壁面は支給した上塗り材を用いて鍍塗り仕上げを行う。

厚塗り部（ふかし壁：内壁とみなす）は、全面に「けいそうモダンコート内装」を塗り付けた後、鍍を使い模様付け仕上げとする。

薄塗り部（一般部：外壁とみなす）は、全面にしつくい上塗を 2 回塗りとし、水引き具合を見て鍍押さえ仕上げとする。

- ・モールディング④・⑤の取付け墨を出して指定寸法どおりに張り付け、接合部は焼石膏を充填して角部を正確に仕上げる。
- ・張り付けたモールディング⑤の内壁は左官材料を用いる。

## 別紙 4

### 注意事項

- 1 競技中、工具の貸し借りは禁止する。
- 2 電動工具（丸ノコ）の使用を禁止する。充電ドライバーの使用は可とする。
- 3 安全規則を遵守すること。ケガをした競技者は競技委員で協議のうえ対応を決定する。
- 4 休息时间および作業終了後は速やかに参加票を提出する。
- 5 作業台は型枠用塗装合板を使用する(1,800×900×12)。
- 6 置引きに使用するアルミ製定木は支給する。持ち込みは不可とする。墨出し、その他に使用する定木は持ち込み可とする。但し、あらかじめ指定寸法を記入した定木の使用は禁止する。
- 7 軽量鉄骨組み立てに使用するビスは各自持参すること。
- 8 支給したランナー・スタッドは、各自切断加工して使用する。
- 9 スタッド固定用のスペーサー・アングルピースは使用、不使用どちらでも可とする。使用するときは持参する。
- 10 ランナー・スタッドはビス止めとする。
- 11 ランナー・スタッドを架台に固定するビスの長さは、25 mm以下とする。
- 12 モジュール 1 および 2 で使用する塗り材は当日係員が支給する。
- 13 時間超過および仕様誤り、作業説明・注意事項を違反した場合は減点する。

公表 別紙 5

支給材料・部材

番号	品 名	規 格	数量	備 考
1	鉄板	250 mm×150 mm×0.4 mm	1 枚	引き型作成
2	焼石膏	吉野石膏(株) 桜印 A 級 20 kg	2 袋	モールドイング作成
3	クイックウォール基材	四国化成工業(株) 下塗り石膏プ ラスター	適量	厚塗り部 中塗り
4	けいそうモダンコート 内装	四国化成工業(株) 上塗り SK セレクトカラー 341	適量	厚塗り部 上塗り
5	MKプラスター	村瀬石灰工業(株) 下地処理材	適量	薄塗り部 下塗り
6	村瀬のしっくい 上塗	村瀬石灰工業(株) 上塗り	適量	薄塗り部 上塗り
7	タイガージョイント セメント (ペースト)	吉野石膏(株)	適量	ふかし壁開口内部 左側小壁 パテ仕上げ
8	ニューツーウェー コーナー定木	フクビ化学工業(株) 3K 1,820 mm	3 本	厚塗り角部取付け
9	コーナー補強テープ	四国化成工業(株) コーナー補強 材 50 mm幅 3,500 mm	1 本	薄塗り角部取付け
1 0	ベベルボード	吉野石膏(株) 1,820 mm×910 mm× 12.5 mm	1 枚	ふかし壁作成
1 1	アルミ 製定木	1,800 mm×60 mm×25 mm	2 本	置引き作業
1 2	ランナー	(株) 桐井製作所 壁下地材 SQ - ランナー45 1,200 mm	2 本	ふかし壁軽量鉄骨材
1 3	スタッド	(株) 桐井製作所 壁下地材 SQ - BAR 4045 1,820 mm SQ - BAR 4045 1,270 mm SQ - BAR 4045 860 mm SQ - BAR 4045 450 mm 45 スタッド 235 mm	2 本 1 本 1 本 2 本 2 本	ふかし壁軽量鉄骨材
1 4	発泡スチロール	1,800 mm×450 mm×10 mm	1 枚	置引き中込め
1 5	取り舟	小	1 個	残土用容器
1 6	バケツ	18ℓ	3 個	プラスチック製
1 7	作業台	1,800 mm×900 mm	1 台	置引き・各種作業用
1 8	置き台	1,800 mm×900 mm	1 台	モールドイング保管用

公 表

第 58 回技能五輪全国大会「左官」職種 持参工具等一覧表

番号	品 名	規 格	数 量	備 考
1	使用工具	工具箱に収まる範囲	一式	
2	工具箱	大きさは 1 m <sup>3</sup> 前後	1 個	
3	モールディング張付け材		適量	有機接着剤不可
4	自由課題仕上げ材	左官材料	適量	
5	養生テープ	市販品	適量	
6	保護用手袋	耐切創手袋	1 枚	軽鉄・ボード切断時着用
7	脚立（作業台）	高所作業用	1 脚	使用者は持参すること
8	パテ材を入れるための容器	20前後容器	1 個	材料配布用

※工具箱の大きさは 1 m<sup>3</sup>前後とする。

著しく大きい工具箱の持参は協議の上減点とする。